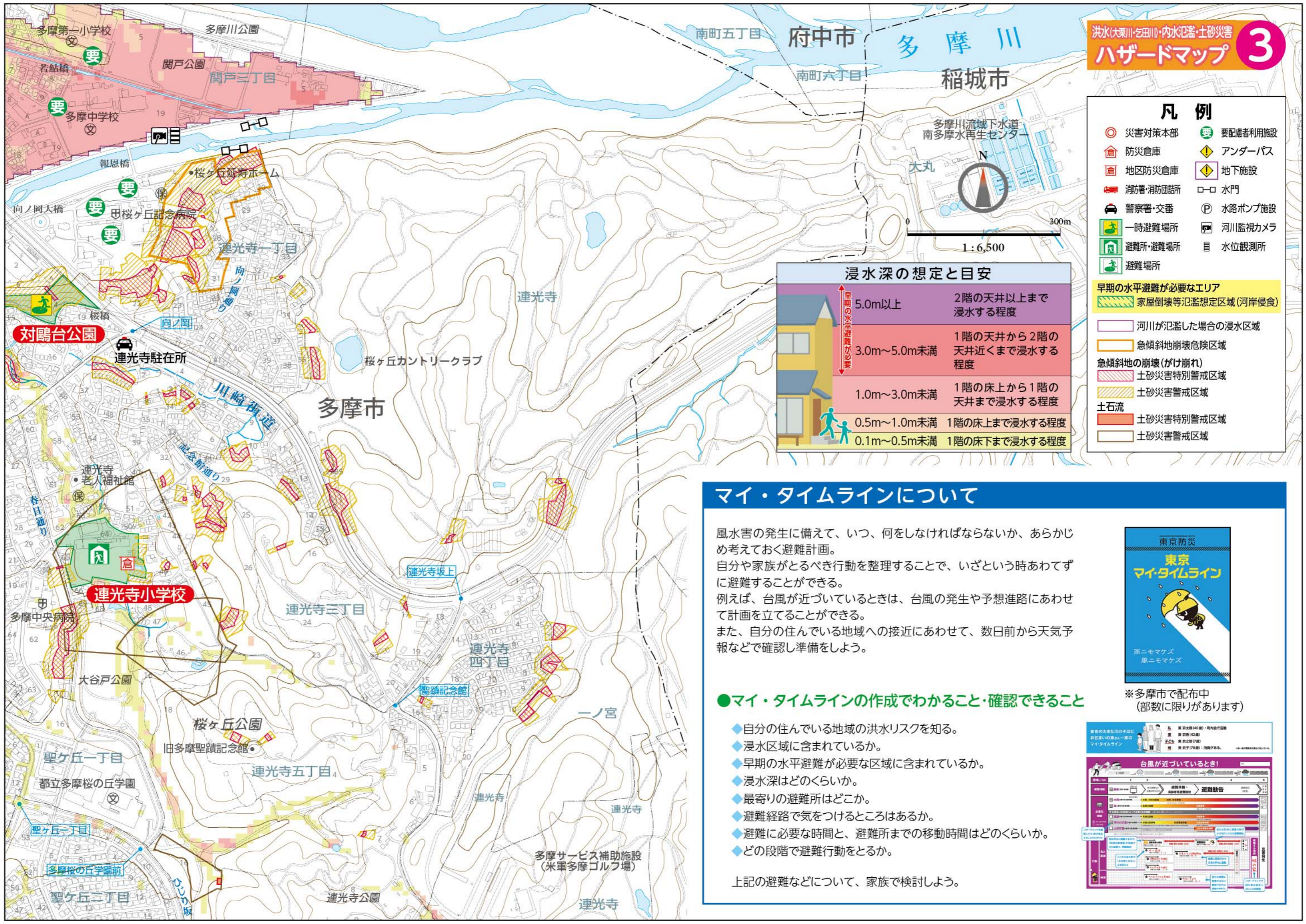


洪水(大栗川・乞田川)・内水氾濫・土砂災害
ハザードマップ 3



- ### 凡例
- 災害対策本部
 - 防災倉庫
 - 地区防災倉庫
 - 消防署・消防団詰所
 - 警察署・交番
 - 一時避難場所
 - 避難所・避難場所
 - 避難場所
 - 要配慮者利用施設
 - アンダーパス
 - 地下施設
 - 水門
 - 水路ポンプ施設
 - 河川監視カメラ
 - 水位観測所

浸水深の想定と目安

5.0m以上	2階の天井以上まで浸水する程度
3.0m~5.0m未満	1階の天井から2階の天井近くまで浸水する程度
1.0m~3.0m未満	1階の床から1階の天井まで浸水する程度
0.5m~1.0m未満	1階の床まで浸水する程度
0.1m~0.5m未満	1階の床下まで浸水する程度

- ### 早期の水平避難が必要なエリア
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
 - 河川が氾濫した場合の浸水区域
 - 急傾斜地崩壊危険区域
 - 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域

マイ・タイムラインについて

風水害の発生に備えて、いつ、何をしなければならないか、あらかじめ考えておく避難計画。自分や家族がとるべき行動を整理することで、いざという時あわてずに避難することができる。例えば、台風が近づいているときは、台風の発生や予想進路にあわせて計画を立てることができる。また、自分の住んでいる地域への接近にあわせて、数日前から天気予報などで確認し準備をしよう。

●マイ・タイムラインの作成でわかること・確認できること

- ◆自分の住んでいる地域の洪水リスクを知る。
- ◆浸水区域に含まれているか。
- ◆早期の水平避難が必要な区域に含まれているか。
- ◆浸水深はどのくらいか。
- ◆最寄りの避難所はどこか。
- ◆避難経路で気をつけるところはあるか。
- ◆避難に必要な時間と、避難所までの移動時間はどのくらいか。
- ◆どの段階で避難行動をとるか。

上記の避難などについて、家族で検討しよう。



※多摩市で配布中(部数に限りがあります)

